

# EPAハノイ便り

創刊号

平成28年1月25日

ARCベトナム校発行

## EPAベトナム第四陣スタート！

さる十二月二十四日に第四陣開講式が行われ、いよいよ第四陣の研修がスタートしました。十二月二十四日午前七時五十分、制服に着替え、開講式を待っている候補者たちは、少し緊張した面持ちでこれから始まる式を待っていました。



緊張した表情の候補者のみなさん

開講式では日本政府、ベトナム政府が見守る中、看護師・介護福祉士候補者の代表として、グエン・ティ・ロアンさんから期待感にあふれるスピーチがありました。以下、グエン・ティ・ロアンさんのスピーチです。  
\*\*\*\*\*

私はグエン・ティ・ロアンと申します。ゲアンから参りました。ゲアンはホーチミンさんの故郷です。ベトナムを独立させた人です。私はそんな故郷を誇りに思います。

本日は日越EPA看護師、介護福祉士候補者の代表としてご挨拶いたします。

まずはベトナム政府と日本政府のみなさまにお礼を申しあげます。私たちのような若者に素晴らしいチャンスをごさださり、ありがとうございます。心から感謝いたします。

私は高校生のとき、道路で交通事故を見ました。バイクと車の事故でした。私は自転車に乗って、見ていました。バイクの人は道路で動きませんでした。周りの大人の人が救急車を呼びました。私も助けられたけれど、何もできませんでした。この経験から人を助ける看護師になりたいと思いました。



候補者代表のグエン・ティ・ロアンさん

式後の記念撮影



看護大学生になってから、今度は父が亡くなりました。それで、高校生のとき思った看護師より、もっとレベルの高い看護師になりたいと思いました。その後、日越EPAプログラムを知りました。日本の看護師のレベルは高いと聞きました。私もぜひ日本へ行こうと決めました。そして、日本で働いて、たくさん給料があつたらいいと思いました。その中から、母や妹に仕送りをしたいと思えます。結果的には、早く働き始めるために、介護福祉士を選びました。私たち210名は1年間、アークアカデミーで一所懸命勉強します。日本語能力試験N3に必ず全員合格します。そして、日越の友好関係のためにがんばります。

最後に、このチャンスをプレゼントしてくださったベトナム政府、日本政府、関係者のみなさまに再度お礼を申しあげます。

どうもありがとうございます。

\*\*\*\*\*

最後に、候補者全員で記念写真を撮影し、無事、開講式が終了しました。翌日からは研修のオリエンテーションとして、二十八日からは授業がスタートしました。

次号からは、ハノイの候補者の生の声を中心に研修の様子を伝えていきたいと思います。どうぞ、お楽しみに。(た)